

物語文を読んでえらぼう

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 初めての当番を よんで、弘樹の気持ちの変化を1つえらびましょう。

飼育当番になった弘樹は、大きな犬がこわくて、はじめは遠くからえさを置くだけだった。けれど毎日通ううちに、犬がしっぽをふってむかえてくれるようになった。今では、そっと頭をなでるのが楽しみになっている。

1 こわがっていたが、今はふれ合うのが楽しみになった。

2 はじめから犬が大好きだった。

3 だんだん犬がきらいになった。

4 犬に関心がなくなった。

2 なくした本を よんで、あやまったあとの真央の気持ちを1つえらびましょう。

友だちから借りた本をなくしてしまった真央は、なかなかそれを言い出せなかった。何日も胸が重かったが、思いきってあやまると、友だちは「気にしないで」とわらってくれた。その言葉に、真央はほっと胸をなでおろした。

1 まだ言い出せずにいる。

2 友だちがゆるしてくれて、ほっとしている。

3 友だちにおこっている。

4 本のことをすっかり忘れている。

3 妹の運動会を よんで、妹がゴールしたときの陸の気持ちを1つえらびましょう。

陸は妹の運動会を見に行った。かけっこで妹がころんだとき、思わず立ち上がりそうになった。だが妹はすぐに起き上がり、最後まで走りきった。ゴールした妹に、陸はだれよりも大きなはく手を送った。

1 ころんだことをせめたい気持ち。

2 最後までがんばった妹をほこらしく思う気持ち。

3 早く帰りたい気持ち。

4 自分も走りたい気持ち。

物語文を読んでえらぼう

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 引っこみじあんの発表を よんで、そのときの美咲の気持ちを1つえらびましょう。

美咲は、みんなの前で意見を言うのが苦手だった。授業で手をあげるまで、心ぞうが早くなった。それでも勇気を出して発言すると、先生が「いい考えだね」とうなずいてくれた。せきにもどる美咲の足どりは、来たときより軽かった。

- 1 言わなければよかったと後かいしている。
- 2 勇気を出せて、晴れやかな気持ちになっている。
- 3 先生におこられて落ちこんでいる。
- 4 何も感じていない。

2 雨やどりを よんで、健太がかさをさし出したのはなぜですか。1つえらびましょう。

急な雨で軒下に雨やどりしていた健太の横に、知らない男の子がかけこんできた。二人はしばらくだまっていたが、健太が自分のかさを「半分入る?」とさし出すと、男の子ははにかんでうなずいた。二人は同じかさで、笑いながら帰った。

- 1 男の子が雨にぬれてこまっていると思ったから。
- 2 自分がぬれたくなかったから。
- 3 かさをすててしまいたかったから。
- 4 男の子と競争したかったから。

3 最後の一問を よんで、そのときのあかりの様子を1つえらびましょう。

テストの残り時間がわずかになった。最後の一問がわからず、あかりの手が止まる。あきらめかけたそのとき、朝読んだ本の一節がふと頭にうかんだ。あかりはいそいでえんぴつを走らせた。

- 1 答えの手がかりを見つけ、いそいで書き始めた。
- 2 あきらめて何も書かなかった。
- 3 本を読み返し始めた。
- 4 ねむってしまった。

物語文を読んでえらぼう

小5／物語を読んで、人物の気持ちや理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 サッカーのベンチを よんで、そのときの大地の気持ちを1つえらびましょう。

けがで しあいに 出られない 大地は、ベンチから 声を からして なかまを おうえんした。チームが 点を 入れる たび、自分の ことのように こぶしを つき上げた。しあいの あと、なかまが「大地の 声が 力に なった」と 言っ てくれた。

1 出られなかったことをうらんでいる。

2 自分もチームの役に立てたと感じ、うれしい。

3 もう応えんしたくないと思っている。

4 しあいに関心がない。

2 祖母の畑を よんで、芋がつぎつぎ出てきたときのみくの様子を1つえらびましょう。

夏休み、みくは 祖母の 畑を 手伝った。土は かたく、なれない 作業に あせが したたる。それでも、自分で ほった 芋が つぎつぎ 出てくると、つかれも わすれて 夢中 に なった。ほり終える ころには、手も 服も だろだらけ だった。

1 つかれてやめてしまった。

2 つかれを忘れるほど夢中になった。

3 どろがいやでにげ出した。

4 何もせずに見ていた。

3 転校生の席を よんで、悠の気持ちの変化を1つえらびましょう。

転校して きた 日、教室の みんなの 視線に、悠は 体が かたくな った。すると となりの 席の 子が「ここ、いっしょに 見よう」と 教科書を すっと よせて くれた。悠の こわばった 肩から、少し 力が ぬけた。

1 きんちょうがやわらいだ。

2 ますますきんちょうした。

3 おこりだした。

4 ねむくなった。